



タラノキ
千秋病院にて
柴田 伸治さん

尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 上平 安秋
〒491-0815 一宮市千秋町堀尻字山王7-5
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2024年3月 NO.430

2024年1月現在 友の会員数 4,952(内社員数820)

第33回健友ネット集会 開催

私たちに「声を上げること」



憲法が守る いのち・くらし・平和

憲法の歴史から多様な社会を考える

講師：青井 未帆氏

第33回健友ネット集会記念講演が2月11日、アイプラザ一宮大ホールにて開催され、270名が参加しました。講演は、学習院大学法科大学院教授の青井未帆氏を講師に招き「憲法が守るいのち・くらし・平和」を憲法の歴史から多様な社会を考える」と題して話していただきました。講演の要旨を紹介いたします。



今、ウクライナで、ガザで戦火が続いています。戦争を国家間の問題とせず、私たちに何ができるのかを考えていきます。流れが戦後の国際連合です。

議なしに決める政治に。この頃から、憲法問題を論議しない流れが作られました。そして2015年9月に安保関連法が強行採決で成立しました。

憲法は、一人ひとりの権利が守られ、平和に暮らせるように作られたものです。憲法に従った政治が民主的手続きで行なわれ、きちんと機能すれば、福祉の権利も含めて私たちの権利は守られるのです。

「台湾有事」が、今まさに2015年より前話にもなりませんでしたが、集団的自衛権を認めた安保法制制定で「台湾有事」に自動参戦の仕組みがいつの間にか作られてしまいました。

ところが、2013年安倍内閣が内閣法制局長官の人事に介入したことから始まり、特定秘密保護法、NSC法(国家安全保障会議)の制定で国会を軽視した政治が始まりました。2014年、集団的自衛権行使容認の閣議決定で国会の論

議なしに決める政治に。この頃から、憲法問題を論議しない流れが作られました。そして2015年9月に安保関連法が強行採決で成立しました。「台湾有事」が、今まさに2015年より前話にもなりません

2015年より前話にもなりませんでしたが、集団的自衛権を認めた安保法制制定で「台湾有事」に自動参戦の仕組みがいつの間にか作られてしまいました。

2015年より前話にもなりませんでしたが、集団的自衛権を認めた安保法制制定で「台湾有事」に自動参戦の仕組みがいつの間にか作られてしまいました。

2015年より前話にもなりませんでしたが、集団的自衛権を認めた安保法制制定で「台湾有事」に自動参戦の仕組みがいつの間にか作られてしまいました。

2015年より前話にもなりませんでしたが、集団的自衛権を認めた安保法制制定で「台湾有事」に自動参戦の仕組みがいつの間にか作られてしまいました。

「現行の健康保険証を残してください」
3月7日 9時半～10時半
請願署名にご協力ください
千秋病院 正面玄関前にて

いのちの相談所
3月13日 於・のわみ相談所

記念講演感想

「憲法が遠くにあるのがいい状態」という言葉を聞いて、本当にその通りだと思った。今は遠ざけられている状態であり、意識をもっていないかといけないうるものではないというところを改めて明確に申し上げたい」と述べました。ここでは「非核三原則」「平和国家」「専守防衛」の言葉を使っていますが、内実は180度転換しています。憲法は軍事を否定(9条・前文)してありますが、2022年の安保3文書は軍事力を前面に出し、平和のための外交力が大事だ、軍事力を持つことが必要だというのです。これは、閣議決定で9条の平和主義を否定し、軍事力による外交で行くことを決めた実質的な憲法改定です。

(30代職員)

ばらばらの知識がまとまりました。私がやれることは、おかしいと思ったら行動することです。(友の会会員)
●憲法が閣議決定で実質改憲された経過がよく分かった。今、声を上げなければ、我々の人権・いのちが守れないこともはつきりした。ガンバロウと思った。(友の会会員)

新任医師紹介

外科 今枝 佑輔 さん



現在まで血管外科を専門に診療を行ってきました。当院では血管外科以外にも外科全般を幅広く診療していきます。地域の皆さまのお役に立つことができれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。(5面「ひと」参照)



ロシアとウクライナの戦争は2年もたった。イスラエルのガザ

攻撃は、停戦の見通しもない。これらの戦争を止める取り組みが今こそ求められる時。その先頭に立つて頑張るのが、憲法9条を持ち、戦争を放棄した日本ではないだろうか。しかし、その日本は「平和国家」から「戦争できる国」へと大きく舵を切った▼防衛予算の推移を2015年度(安倍政権)と、2024年度で比べると4兆9801億円(5.2%)から7兆9172億円(7.1%)に増加。文教予算は、5兆3613億円(5.6%)から5兆4716億円(4.9%)に、金額は変わっていないが、割合は0.7%も減っている▼岸田首相は、敵基地攻撃ができる射程2〜3千kmの長距離ミサイルの保有や、沖縄、南西諸島の自衛隊基地の強化、そして武器輸出三原則を大幅に緩和して殺傷兵器の輸出を可能にした。それでも、「専守防衛を堅持し、平和国家としての日本の歩みは今後も変わらない」と言っている。本当にこのことは信用できるのか。(KYU)